

進路だより

no.2

2021.9.10

光陽中学校
進路指導部

前回は、本年度の入試までの流れをお知らせしましたが、今回は高校に進学する際にかかる費用、また国と大阪府が行っている私学の授業料免除の制度、また奨学金制度についてお知らせしたいと思います。

公立と私立高等学校にかかる費用について

下の表には、受験料、入学金、年間授業料を載せてありますが、この他にも、教科書代、制服代、修学旅行の積立金などの費用が必要になります。

公立 高校	都道府県や市町村が設置している学校で、最も標準的な教育が行われています。男女共学がほとんどで、平成22年度から25年度までは授業料は無償でしたが、平成26年度の新入生から次の授業料を負担することになりました。
	全日制高校 月額 9,900 円 定時制高校 月額 2,700 円 通信制高校 1単位あたり年額 330 円 ※なお、授業料を支援する制度があります。 (参考)受験料:2,200 円 入学金:5,650 円 年間授業料:118,800 円
私立 高校	学校によって独自の教育方針のもとに経営が行われています。そのため宗教の時間や進学特別コースなどが設置されているところもあります。男子校・女子校・共学校があり、中学・高校・大学と一つの学園を作っている学校もあります。このような学校では、同じ系列の大学に優先的に入学できる場合もあります。 学費や通学時間などがかなりかかることがあるので、よく考慮しなければなりません。また、入試の方法は学校によって異なり、和歌山県・奈良県などの他府県は入試日が大阪府とは異なります。 (参考)受験料:約 2 万円 入学金:約 20 万円 年間授業料:約 50 万円

平成31（2019）年度以降の授業料無償化制度の概要

下の表は大阪府が行っている、私立高校の授業料免除についての一覧です。

【年間授業料が60万円の全日制高校の場合】

モデル世帯※1の年収めやす	課税標準額×6% -市町村民税の調整控除額 ※2	授業料負担年額		
		子ども一人の世帯	子ども二人の世帯※3	子ども三人以上の世帯※3
590万円未満	154,500円未満	無 償		無 儻
		20万円 ※4	10万円 ※4	
910万円未満	304,200円未満	481,200円※5※6	30万円 ※5	10万円 ※5

※1 保護者のうちどちらか一方が働き、子ども2人（16歳以上19歳未満1人、16歳未満1人）がいる4人世帯

※2 保護者全員の「課税標準額×6% - 市町村民税の調整控除の額（政令指定都市の場合は調整控除の額に4分の3を掛けて計算）」の合算

※3 生徒本人を含んで2人以上の子ども扶養する世帯については、手厚い支援を受けることができます。詳しくは後述の多子世帯についてをご確認ください。

※4 授業料にかかわらず、負担額は変わりません。

※5 授業料が60万円を超える学校の場合、その超えた額と表中の金額の合計が保護者負担額となります。

（授業料が65万円の場合：表中の金額+5万円が保護者負担額となります。）

※6 授業料が60万円未満の場合、授業料から就学支援金（118,800円）を引いた額が保護者負担額となります。

奨学金制度について

私立高校授業料無償化制度の他にも、経済的理由により進学を諦めるということのないよう、就学金の貸し付けを行うなどの奨学金制度というものがあります。（例えば大阪府育英会や岸和田市奨学会が行っているもの。）

所得や住所などの要件があり、受けられないことがあります。また、要件、募集時期、申込先などは制度ごとに異なります。案内が出たら、その都度必ず保護者の方に確認してもらいましょう。

※大阪府育英会の学校締め切りは10月1日(金)です。